

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【公開番号】特開 2016-24121 (P2016-24121A)
【公開日】平成 28 年 2 月 8 日 (2016.2.8)
【年通号数】公開・登録公報 2016-009
【出願番号】特願 2014-149967 (P2014-149967)
【国際特許分類】

G 2 1 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 2 1 F 9/30 5 1 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 31 日 (2017.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放射性核種を含む放射性廃棄物、ガラス原料及びグラファイトを第 1 容器内に供給し、前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第 1 容器が、第 2 容器内の断熱領域に配置され、

前記断熱領域内で、前記放射性核種から放出される放射線により発生する熱で、第 2 容器内の断熱領域に存在する前記第 1 容器内の前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料を加熱し、

加熱された前記ガラス原料が溶融して前記放射性廃棄物のガラス固化体が作製されることを特徴とする放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項 2】

前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第 1 容器の前記断熱領域への配置は、前記第 1 容器を、前記第 2 容器である断熱容器内に形成される断熱領域に配置することによって行われる請求項 1 に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項 3】

前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第 1 容器の前記断熱領域への配置は、前記第 1 容器を前記第 2 容器である減圧容器内に配置し、密封された前記減圧容器内の、前記第 1 容器が配置された空間を減圧して断熱領域にすることによって行われる請求項 1 に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項 4】

前記第 2 容器内の前記断熱領域に配置される前記第 1 容器の温度を測定し、前記第 1 容器が配置された、前記第 2 容器内の前記断熱領域に供給するガスの流量を、測定された前記温度に基づいて調節する請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項 5】

前記第 2 容器内の前記断熱領域に配置される前記第 1 容器の温度を測定し、前記第 1 容器が配置された、前記第 2 容器内の前記断熱領域の圧力を制御する請求項 3 に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項 6】

熱伝導部材によって複数の廃棄物充填領域が内部に形成された固化体のそれぞれの前記廃棄物充填領域に、放射性核種を含む放射性廃棄物、及びガラス原料を充填し、

前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料が内部に存在する第 1 容器が、第 2 容器内の断熱領域に配置され、

前記断熱領域内で、前記放射性核種から放出される放射線により発生する熱で、前記第 2 容器内の断熱領域に存在する前記第 1 容器内の前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料を加熱し、

加熱された前記ガラス原料が溶融して前記放射性廃棄物のガラス固化体が作製されることを特徴とする放射性廃棄物の固化処理方法。